**令和3年度　第２回地域密着型サービス運営委員会会議録**

 日 時：令和4年3月18日（金）13：30～14：00

場 所：本庁舎5階　5Ａ会議室

出　　席：1名欠席（小川委員）

傍聴人数：0人

1.開会の言葉

2.議題及び審議内容

〇議題（１）地域密着型サービス事業所の新規指定について

【審議内容】

事務局：

資料により説明。

リハビリデイサービスフクラス嘉麻の新規指定（令和4年4月1日）に伴う申請書

及び現地調査を実施。人員基準、設備基準、運営基準を満たしていることを報告。

委員：

新規指定について承認。

〇議題（２）地域密着型サービス事業所の指定更新について

【審議内容】

事務局：

資料により説明。

　グループホームほたるの里の指定更新（令和4年5月1日）に伴う申請書及び現地

調査を実施。人員基準、設備基準、運営基準を満たしていることを報告。

委員：

指定更新について承認。

〇議題（３）災害時要援護者支援体制整備事業の事業評価について

事務局：

資料により説明

【質疑応答】

委員：

個別避難計画について、この地域は水害に見舞われることが頻繁にあり、災害が起こってからでは、2次災害の危険性もあるので、対象者をしぼって計画を立てることは非常に大切なことだと思う。

委員：

令和３年度の課題取組のなかで避難支援者について記載されており、避難支援者と要支援者の関わり、連携など、避難支援者に対してどのように避難行動したらいいのか、個別避難計画等があると思うが、具体的に説明をお願いしたい。

事務局：

避難支援者である８団体には、地域への情報提供に同意いただいた方の名簿をお渡ししている。また、ひとりひとりがどうやって避難するかについては、個別避難計画を作成しており、要支援者全員の分を作成するよう国からも方針がでており、検討中である。要支援者が2,000人程度いるため、すぐに全員分を作成することは難しいが、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域内の在宅要支援者353人を優先対象者として、そちらから作成に取り組みたいと考えている。

委員：

優先対象者３５３人との関わりを避難支援者である団体と調整されていると思うが、この団体が本当に関わりをもてるような会議等が行われているのかなと思う。警察、消防、消防団、自主防災組織等はよいと思うが、行政区長、民生委員等の個人になった場合、行政区長は、行政区に１人しかおらず、どのように関わっていくかの調整が行われているのか。避難支援が２人、3人となった場合、行政区長１人では対応ができないのではないか。

事務局：

それぞれの行政区によっても、自主防災組織のあるところやないところで、関わり方もかなり違ってくると思うが、避難行動要支援者名簿をお渡しする際に、避難行動要支援者対策の説明や、この名簿をどのように活用していただくかの説明をしている。そのなかで、活動が活発ではない行政区については、まずは普段の見守り等から始めてもらうようお願いしている。

委員：

現実的な話ではあるが、自主防災組織があるところはある程度関わりをもつことができると思うが、自主防災組織のない行政区は、どのような関わりをもって避難行動に移れるのかと心配であったため質問した。

委員：

昔の日本はわりと顔の見える関係性であったが、現在は、意識して関係性を作らないと、なかなか難しいので、行政側でも、地域での関係性ができるような活動をやっていただければと思う。

委員：

私の行政区では、区長から避難の時に支援が必要な方を教えていただいている。避難の時に支援が必要な方の名簿を作る際も本人と話合いを行っている。私は民生委員であるため、日頃から訪問などしてお話ししたりしている。また、避難支援が必要な時は、区長からの指示で、避難所まで車で送っている。避難所には係の方もいらっしゃるので、あとは避難所にお預けしてお願いしている。ご近所の方やその地域の方のことになってくるので、やはりその地域での対応が主になってくると思う。

委員：

長期の避難生活になった場合、お薬等の情報がないと、治療が滞ってしまうということがあるので、そういったことについても早期の備えや、そのための協力体制、活動を考えなければならないと思う。

委員：

老人クラブでは、各クラブの委員と一緒に、見守りが必要な方を定期的に訪問するようにしている。

委員：

地域への情報提供に同意してくださっている方が３分の２程度と非常に少ないので、身近にいらっしゃる老人クラブの方等が、見守り活動のなかで説明していただき、同意がいただけるような、そういった雰囲気をつくっていただければありがたいと思う。

【事業評価について】

委員：

委員会の評価については、B評価としたい。